

2016年活動スローガン「Love Over The World 輝く子ども達の未来に愛を!!」

報 告 2016年4月～6月支援分

〈バングラデシュ〉

●トイレ寄付

会員有志の方々よりカパシア郡の学校へトイレを3基

●その他の寄付

会員有志の方々よりYURIKOエンゼルスクールへ 自転車を2台

会員有志の方々よりYURIKOエンゼルスクールへ コンピューターを7台

〈シエラレオネ〉

4月に宣教クララ修道会のシスター吉田様を通じてシエラレオネへの支援として10万円を寄付

〈国内活動〉

熊本地震への支援のため、本協会並びに各地のバザーやノクシカタ販売時に募金箱を設置しております。

お知らせ

昨年12月より延期となっていましたバングラデシュ支援30周年記念式典は、今年の12月10日（予定）にバングラデシュにて行われる事になりました。



イベント情報

アートフェスティバル

7/22(金) ~ 7/24(日)

場所：本協会ボランティアセンター（伊丹市）
時間：10:00～18:00
内容：国内外の絵画の展示販売、絵画教室など

仲島正教氏チャリティ講演会

8/3(水)

場所：いたみホール6F 中ホール（伊丹市） **入場無料**
時間：開演14:00（開場13:30）
内容：子育ての話や思春期の子どもについての講演
（テーマ）「あーよかったな あなたがいて」
～心の銀行にいっぱい貯金を～

チャリティイベント

9/3(土)

場所：アイフォニックホール（伊丹市） **入場無料**
時間：開演14:00（開場13:00）
内容：混声合唱団「エンゼル」のコーラス、
「和太鼓はぐるま」の太鼓演奏など



秋のチャリティバザー

10/19(水)

場所：本協会ボランティアセンター（伊丹市）
時間：10:00～14:00

会員募集

本協会の活動は皆さまの会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員 年額1口 6,000円
特別会員 年額1口30,000円

●DCEF会員（教育里親）

1ヵ月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。

郵便自動払込方法も受付けています。

郵便振替・口座番号
01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよろしくお願いします。

会員数：一般会員 754名
DCEF会員 890名
（7月1日現在）

2016年行事予定

7月現在

7月	22(金)～24(日)	アートフェスティバル	本協会ボランティアセンター	伊丹市
8月	1(月)	チャリティバザー	伊丹シティホテル	伊丹市
	3(水)	チャリティ講演会	いたみホール	伊丹市
	24(水)～30(火)	ノクシカタ販売	山陽百貨店	姫路市
9月	3(土)	チャリティイベント	アイフォニックホール	伊丹市
	7(水)	ノクシカタ販売	住吉大社	大阪市
10月	19(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市

※その他詳しいことは、事務局までお問い合わせ下さい。

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者



特定非営利活動法人

国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504 FAX.072(784)4608
Home Page ● <http://www.angel-ngo.gr.jp>
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp

ANGEL NEWS

通巻176号
2016.07① バングラデシュ報告
② 春のチャリティバザー

識字教室の卒業生達

卒業おめでとうございます!!

6月19日、バングラデシュで識字教室の卒業式が行われました。色とりどりのサリーを着た卒業生、その目はとてもいきいきと輝いていました。

国際エンゼル協会は21年前から女性を対象に識字教室を行っています。カパシアの田舎で現地の女性が6ヶ月間「読み、書き、計算、衛生」などの日常生活に必要な事を学んでいます。小さい頃に貧しくて学校に通う事ができなかった彼女達は、若い日に戻ったように、喜んで楽しそうに教室に通っています。

「出稼ぎの夫からの手紙を読めるようになった。自分で書いて送ることもできる」「バスも行き先が分かるようになったので自分で行ける」「サインをする時に名前が書けなくて指紋を押すしかなかったけれど、今ではそんな恥ずかしい思いをしなくていい」「子どもの勉強を見てやれるし、子どもには勉強を続けさせてやりたい」そんな喜びの声を聞いた時にこのプロジェクトの大切さを感じます。

教育の成果はすぐに結果が出るものではありませんが、自信を持っていきいきと生きる女性が増えることで確実に彼女たちの自立が始まっていくことでしょう。

代表理事 東村 眞理子

バングラデシュ報告

お正月イベント

バングラデシュでは、4月14日が新年の始まりです。YURIKOエンゼルスクールではお正月をお祝いしてイベントが開催されました。生徒達は歌や踊り、演劇などを行い、日々の練習の成果を舞台上で堂々と披露し大きな拍手を浴びていました。校庭ではバザーも行われ、保護者の方々にも好評で楽しい一日を過ごしました。



踊りを披露する生徒達



子ども達に人気の
甘い揚げ菓子

スリジョニ (寺子屋風教室) の運動会

4月25日、今年で3回目となるスリジョニの生徒達による運動会が開催されました。競技は全部で12種目あり、一生懸命に徒競走やクッキー喰い競争などを行いました。

保護者の方々は、いきいきとした子ども達の様子を見て「ここに来る前は学校に行けず、運動会にも参加することがなかったけど、こうしてみんなと楽しそうに競技する姿を見れて嬉しいです」と感謝していました。



白熱した
クッキー喰い競争



参加賞をもらって喜ぶ
子ども達

エンゼルホームのジャミウル君が 奨学金をいただけることになりました

エンゼルホームの男の子ジャミウル君は現在ダッカ大学の1年生（経営学専攻）です。2015年にHSC試験（高校卒業資格試験）を受験し、その成績が優秀だったので、5月26日にバングラデシュ文部省の奨学金をいただけるという通知がありました。今後大学の4年間奨学金がいただけることになりました。

これからもしっかりと大学で学んで、将来の夢を叶えられるようがんばって下さい。



特集 エンゼルホームの子ども達が思い出を語る③

私を導いてくれた出会い

カディジャ・アクター

Khadiza Akter



私は小学6年生の時から国際エンゼル協会の奨学金を受けていました。2006年に東村真理子代表がカパシア村に奨学生を訪問に来られた時に私の家でできた家にも来て下さいました。「将来学校の先生になりたい」と、真理子さんに夢の話をしました。そして真理子さんのお蔭で翌年8年生の時エンゼルホームに入ることになりました。とても広い家になり、兄弟もたくさんできました。緑の多いエンゼルホームはとてもきれいに感じました。

エンゼルホームではみんなと縄跳びをしたり、花や木を植えたり、朝ごはんの手伝いをしたりと、毎日楽しい日々でした。図書館には本がいっぱいあって、昔話などたくさん本を読みました。日本からお客さんが来る度に折り紙などを教えて頂きました。皆さんに披露するため、歌や踊りも習いました。そのお蔭で、自信がついて人前に立って話す事ができるようになりました。日本語ができなくてもエンゼルの皆さんとお話する事ができたのは、皆さんの愛が私達とつながっているからだと思います。

私は中学校を卒業後、コンピューターの専門学校に4年間通いました。そして2015年の1月からYURIKOエンゼルスクールでコンピューターを子ども達に教えるようになりました。先生になる夢が叶い、毎日がとても楽しいです。日本のお母さん方がバングラデシュのたくさんの子どものため、素晴らしい人生を歩めるよう応援してくださっている事を心より感謝しております。

川村さんの言葉に込められた愛の心は私達に親がいない事を忘れさせてくれました。本当に良くして下さい、ありがとうございました。エンゼルホームの事はいつも心に残っています。



2007年当時のカディジャさん

No.20

エンゼルホームの子ども達が マザル君 Md. Al Amin (13才)



マザル君は1才の時に父さんを病気で亡くしました。彼には7人の兄弟がいて生活が苦しく、このままでは学校に通う事ができませんでした。お母さんはマザル君の将来の事を考えて、彼が6歳の時にエンゼルホームに連れてきました。

エンゼルホームにやって来る前、マザル君は色が黒いことを気にして顔を白くするためパウダーをよく塗っていたそうです。でも一向に白くならないので諦めたということを話し、みんなを笑わせていました。

優しく温かな性格で、同室の年下の子達の面倒もよくみています。遊び時間には一緒にクリケットやサッカーなどをし、夜は自習や好きなチェスに熱中しています。現在YURIKOエンゼルスクールの7年生で、将来は土木技師になるのが夢だそうです。これからも勉強にスポーツにがんばってください。

第65回 春のチャリティバザー 4/6

外売場

荷物が多くなったので一度帰って荷物を置いてから、また買い物に来ちゃいました。

60代主婦

私達の活動がバングラデシュの子ども達の支えとなっている事を思うと、頑張ってるかなと思います。

30代ボランティア



外売場では最初から最後まで、たくさんのお客様で賑わっていました。



中売場

とにかく珍しい物がたくさんありました。こんなにたくさん品物を寄付で集めるなんてびっくりでした。

50代主婦

初めてバザーに来ましたが、開店前から本当にたくさんの方が並んで驚きました。

40代主婦



中売場の開場を待つお客様の中には、開場前から靴を脱いで待っている方もおられました。開場直後はまるで満員電車のように混み合っており、お客様もボランティアさんも大忙しでした。



模擬店



当日ボランティアして下さった方は300人を超えました。売り場以外にも警備や場内整理、場内美化にと皆さん朝早くから片付けまで一生懸命お手伝いくださいました。当協会のチャリティバザーは本当に多くの方に支えられ、ここまでできました。これからもご支援よろしくお願いします。

いつもでも行列が絶えませんが、一度食べると並ぶ理由に納得できる美味しさです。

30代主婦

初めてボランティアに来ましたが、人の多さに圧倒されている内に終わっていました。

40代ボランティア



「実は模擬店目当てに来ています」と言われるお客様もあらわれるほど、安くておいしいと評判の模擬店、今回も大盛況でした。どのお店も行列のできるほどの人気店です。



DCEFだより

元奨学生からの便り — バングラデシュ



皆さん、こんにちは。私はシャリフル・イスラムです。私はコミラ大学（ダッカ南東部）で物理の講師として働いています。国際エンゼル協会の奨学金支援のおかげで、私の夢であった大学の講師になることができました。ありがとうございました。

私は高校から大学院卒業までの間、奨学金をいただいていた。私はDCEFの奨学金プログラムがコナバリのエンゼルホームで行われた時にプログラムに参加しました。そこから多くのことを学ぶことが出来ました。そして、今私は大学で学生達にこの時に学んだこと、例えば、規則正しい生活をする、整理整頓の大切さ、国のお役に立つ人になること、困っている人には手を差し伸べることなどを話しています。

私は日本の国際エンゼル協会の皆さんの支援のおかげで勉強を続けることができ、今自分の夢を実現することが出来たことに心から感謝しています。ぜひ皆さんがバングラデシュを訪れた際には私の大学を見学に来て下さい。よろしくお願いいたします。



シャリフル・イスラム
(コミラ大学 物理講師)

DCEF (ディセフ)とは…
[Developing Country Educational Fund]

経済的に恵まれない発展途上国の子供達に教育援助を行う里親制度。奨学資金の供与や学校校舎の建設・設備の充実、農村女性を対象にした識字教室等を行っています。また、バングラデシュ以外に、フィリピン、スリランカなどの子供達にも支援しています。

熊本地震視察報告

上空から見る熊本被災地は、ブルーの屋根が点在していた。益城町の「広安愛児園」を訪問。ここは3歳から高校3年生の恵まれない子ども達52名が共同生活をしている施設。この小規模施設は危険指定され退去、困っているとのこと。三嶋事務局長にご案内いただき被災地を視察。立派だったであろう日本家屋は倒壊。熊本城も視察。テレビで見た無残な世界が広がっていた。支援の必要性を強く感じた視察だった。

事務局長 東村 悦三



益城町の様子



バングラデシュより 震災お見舞い

熊本地震で亡くなられた方々のご冥福を祈り、4月20日にYURIKOエンゼルス쿨の朝礼で黙祷を捧げました。バングラデシュからも熊本県周辺の被災者の皆さんの無事と一日も早い復旧を心から願っています。

バングラデシュ現地責任者
アジズル・バリ



第19回

楽しいボランティアひろば 6/5

手作り作品&
ノクシカタ刺しゅう製品
展示販売



お楽しみイベント

鮮やかな衣装の華やかなフラダンスを観て、一緒に踊って、ハワイアン気分になりました



バングラデシュ
おもしろ体験

バングラデシュからの
留学生ドラちゃんによる
バングラデシュ紹介



模擬店

焼きそば、カレー、サモサ、たい焼きなど
たくさんの模擬店でにぎわいました



子どもコーナー

輪投げや魚釣り、工作に子ども達は元気
いっぱい楽しみました

この他にも、
「サリーの着付け」
「一日手芸講習」
「マーケット」
「古本市」
「奨学生の家再現」
などがありました。



6月5日の日曜日、毎年恒例となりました「楽しいボランティアひろば」が、本協会ボランティアセンターで開催されました。それぞれに工夫を凝らした催し物がたくさんあり、皆様に楽しい一日を過ごしていただきました。ご近所の方やご家族で来られる方も多く、本協会の活動を皆様にご紹介いただく目的で始まったこのイベントも回を重ねるごとに楽しい輪が広がっています。

連載コラム3

仲島正教の優しい風
～ Loving-wind ～

10秒の愛



▲教育サポーター 仲島正教

子どもって、忙しい時に限って寄ってきます。
子どもって、なかなかさっさとできません。
子どもって、なかなかはっきりと言えません。
でも、たった10秒でいいのです。まず子どもを抱きしめてあげて下さい。

たった10秒でいいのです。「早く！」って言う前に 待ってあげて下さい。
たった10秒でいいのです。せかさずにじっと聞いてあげて下さい。
すると、そこに「笑顔」が生まれます。そこに「つながり」が生まれます。
たかが10秒、されど10秒
「10秒の愛」は 子どもを幸せにするのです。

子どもは忙しい時に限って、よく声をかけてきます。
たとえば夕食の支度に忙しい時に
「おかあさん、おかあさん」と近づいてきたら どうしましょう？
そんな時は、たった10秒でいいのです。支度している手をどめて
「ごめんね、今、手を離せないのであとでゆっくり聞くね」と言って
10秒間だけしっかりと抱きしめてください。
きっと、子どもは笑顔で待ってくれますから・・・

子どもが、たどたどしく話しかけてきたらどうしましょう？
聞いていてイライラすることもあるでしょう。
そんな時いつもより 10秒間だけ待ってあげてください。
きっと子どもは笑顔になりますから・・・
たかが10秒、されど10秒
子どもが育つ「10秒の魔法」なのです。

☆ノクシカタ新製品紹介☆



鍋つかみ

手がすっぽり入るかわい
い鍋つかみ。使わない
時は、壁にかけておくだ
けでキッチンが色鮮や
かに！

1組 1,200円



コースター

置いておくだけで食卓が華や
かになるコースター。ティー
タイムにはぜひお使い下さい。

1枚 350円

●サイズ：10.5cm×10.5cm